

バングラデシュの橋梁が完工

オリコンサルグローバルJV

詳細設計、施工監理など担当

オリエンタルコンサル
タンツグローバルがフイ
ージビリティスタディか
ら携わり、同社を幹事会
社とするJVが詳細設
計、施工監理等のコンサ
ルディングサービスを担
当したバングラデシュ国
における「カチプール・
メグナ・グムティ第2橋
梁建設および既設橋リハ

ビリティションプロジェ
クト」の完工式が9日、
同国メグナ橋架橋地点で
執り行われた。写真。
式典には、バングラデ
シュ側からオバイタル・
カデル交通橋梁省大
臣、ナズル・イスラム交
通橋梁省次官、アシチュ
フル・アラム道路・国道
部長、その他関係者が、



日本側からは伊藤直樹在
バングラデシュ日本大
使、平田仁JICAバン
グラデシュ事務所長らが

出席した。

カチプール・メグナ・
グムティのそれぞれの橋
梁は、同国の首都ダッカ
と同国最大の国際港であ
るチッタゴンを結ぶ基幹
道路である国道1号線上
に位置している。経済発
展とともに増大する交通
量により、年々悪化する
国道1号線の渋滞に対し
て、同国道の道路区間は
4車線に拡張されたもの
の、当該橋梁区間の既設
橋は2車線だったことか
ら、早期の第2橋梁建設
による拡張が求められて

いた。

施工は大林・清水・J
FEエンジニアリング・
IHインフラストラク
チャーシステムズJVが
担当し、日本の固有技術
である鋼細幅箱桁と鋼管
矢板井筒基礎を採用し
て、4年間の契約工期内
に完工した。

完成により、国道1号
線ダッカ・チッタゴン間
の最大渋滞箇所の渋滞を
解消し、通過時間を大幅
に短縮できたことは、同
国の経済発展に大きく寄
与するものとなる。